

「都立高校改革推進計画・新実施計画（第二次）」の策定について

～ 生徒一人一人の可能性を伸ばし、未来を切り拓く力を育むために ～

都立高校改革推進計画・新実施計画（第二次）の策定の背景

都立高校改革推進計画とは・・・

- 都民の期待に応えるため、都立高校が抱える課題の解決を図り、今後の展望を明らかにする総合的な計画
- 10年間の長期計画である「都立高校改革推進計画」のもとに、その実現に向けた具体的な実施計画を策定し、社会状況の変化等を踏まえた都立高校改革を推進
- 現在は、平成28年2月に一部改訂を行った都立高校改革推進計画と、そのもとに策定した新実施計画に基づいて、都立高校改革を推進

【参考】都立高校改革推進計画（平成24年2月策定）

平成24～27年度	第一次実施計画
平成28～30年度	新実施計画
平成31～33年度	新実施計画（第二次）

都立高校を取り巻く環境の変化

- AIなど情報技術の革新による社会の在り方の変革
- 高等学校学習指導要領の改訂と高大接続改革の進展
- 平成30年度都立高校入学者選抜の実施状況
- 成年年齢の引下げ（平成34年4月）等



社会の変化を前向きに受け止めつつ、自らも学び、成長し続ける意欲をもって主体的に社会に参画し、新しい価値を創造する能力を育成していくことが必要
このため、新実施計画に基づく取組を着実に推進するとともに、都民の期待・信頼に応え、魅力ある都立高校であり続けることを目的として「新実施計画（第二次）」を策定

新実施計画（第二次）による改革のポイント

施策展開に当たっての基本的考え方

全ての生徒に個に応じた適切な学びを提供し、本人の希望・適性に応じた進学・就職につなげ、生徒・保護者の期待・信頼に応える学校づくりを徹底



都立ならではのきめ細かい指導により、全ての生徒に基礎学力を確実に習得させるとともに、各学校が、自らの強み・特色を踏まえた目指すべき姿を明確にし、その実現に向けて、魅力化・活性化を推進

地の利を生かした専門的・実践的な学びの充実

多様な大学や民間企業が集積する「東京」の地の利を生かし、**高大連携や産学連携を積極的に進め**、学びの高度化を図るとともに、**進学やその後の社会・職業との接続**を実現

国際都市の特性を発揮した学びの場の創出

様々な都市・地域から人が行き交う国際都市としての特性を発揮し、**全ての学校で国際交流を推進**するとともに、多様性に富み、豊かな国際感覚を育む**グローバルな教育環境を整備**

情報技術の革新に対応した新しい学びの実現

情報技術の革新的な発展を踏まえ、**これらを理解し、使いこなす力を育成**するとともに、情報技術を学びに活用することで、**個々の生徒に応じて最適化された学び**を実現

都立高校改革推進計画の目的と目標

計画の目的

教育基本法の理念を踏まえ、都立高校が生徒を「真に社会人として自立した人間」に育成する。

目的を具現化する目標

目標Ⅰ	次代を担う社会的に自立した人間の育成（教育内容）
目標Ⅱ	生徒一人一人の能力を最大限に伸ばす学校づくりの推進（学校設置・課程改善等）
目標Ⅲ	質の高い教育を支えるための環境整備（教育諸条件）

目標Ⅰ 次代を担う社会的に自立した人間の育成（教育内容）

社会的自立に必要な「知」「徳」「体」の育成

- **個の状況に応じた学力向上の支援**
義務教育段階の基礎学力の定着が十分でない生徒に対して、個に応じた学習支援を充実
➢「校内寺子屋」「ゆめナビプロジェクト」の実施
- **学びの基盤づくりのための取組の推進**
読解力をはじめとする学びの基盤となる力を全ての生徒が身に付けることができるよう学習プログラムを開発するとともに、実践研究を推進
- **進路多様校における進学希望を実現するための学習支援の充実**
放課後等に外部人材による受験指導を行い、大学への進学実績の向上を目指すとともに、大学受験に対応した教員の教科指導力を向上（「進学アシスト校」の指定）
- **都立学校スマートスクール構想の実現に向けた取組の推進とICT環境の充実**
AI等を活用し、個々の生徒に応じて最適化された学びを実現させるため実証実験を推進するとともに、無線LANの拡充を検討
- **「理数科」の設置**
理数系の素養と情報活用能力等を併せもつ人材の育成のため、都立初の「理数科」の設置を検討
- **高大連携の推進**
様々な大学との連携を進め、専門的な学びの機会を提供するとともに、その成果を大学での学びにつなげ、高大一貫した人材育成を推進
 - 各大学が特色・強みをもつ分野 ---
 - ◆ 首都大学東京(総合大学) ◆ 東京農工大学(農学・生命科学)
 - ◆ 東京学芸大学(教員養成) ◆ 東京外国語大学(言語・文化、社会)
 - ◆ 電気通信大学(情報・理工学)
- **教科「人間と社会」の推進**
人間としての在り方生き方に関する都独自教科「人間と社会」により、道徳性を養い行動する力を育成
- **スポーツ特別強化校の指定による競技力向上**
複数の運動部が全国大会や関東大会に出場することを支援

グローバル人材の育成

東京や日本の未来を担い、リードしていく人材を育成するため、「使える英語力の育成」「豊かな国際感覚の醸成」「日本人としての自覚と誇りの涵養」を取組の柱とするとともに、持続可能な社会づくりに向けた教育を推進

- **英語教育推進校の指定 【使える英語力の育成】**
オンライン英会話の導入等により英語の4技能を更に強化
- **海外との学校間交流の促進 【豊かな国際感覚の醸成】**
国際交流コンシェルジュの活用等により、都立高校と海外との学校とのマッチングを支援し、全ての都立高校において国際交流を実現できる環境を整備
- **都独自の英語教材「Welcome to Tokyo」の活用 【日本人としての自覚と誇りの涵養】**
日本・東京の文化・歴史等の理解促進と英語による発信力を強化するため、英語教材「Welcome to Tokyo」の活用を推進
- **持続可能な社会づくりに向けた教育の推進**
持続可能な開発目標（SDGs）に掲げられている課題等を題材として、推進校において授業改善の取組や外部人材の活用等を図るとともに、全ての都立高校に取組の成果を普及

オリンピック・パラリンピック教育の推進

「ボランティアマインド」「障害者理解」「スポーツ志向」「日本人としての自覚と誇り」「豊かな国際感覚」の五つの資質を生徒に育成するため、引き続きオリンピック・パラリンピック教育を推進するとともに、レガシー構築に向け、SDGsと関連付けた取組や都の実施する「文化プログラム」の活用など学校の特色化に結び付く教育活動を展開

社会的・職業的自立意識の醸成

- **主権者意識等の醸成**
成年年齢引下げを見据え、社会の形成者として必要な資質・能力を育成

目標Ⅱ 生徒一人一人の能力を最大限に伸ばす学校づくりの推進（学校設置・課程改善等）

国際色豊かな学校の拡充

○ 小中高一貫教育校の設置

小学校第1学年からの英語教育等により高い語学力と豊かな国際感覚を備え、世界で活躍できる人材を育成

○ 国際バカロレア教育の充実

国際高校の国際バカロレア教育を充実させ、海外大学等への進学を支援

専門高校の改善

GAPや企業連携による実践的な農業教育の推進

GAPの取組や企業との連携を通じて、将来の東京の農業や関連産業を支える人材（農業マイスター）を育成 【農業】

工業高校におけるIT人材の育成

IT関連企業や専門学校等との連携により、新たな教育プログラムを開発し、即戦力として活躍できるIT人材を育成 【工業】

ビジネスを実地で学ぶ商業教育への改革

実践的なビジネス手法やクラウドファンディング等を学ぶ機会を提供し、実務的職業人（ビジネスマイスター）を育成 【商業】

東京の伝統工芸等を支える人材の育成

東京の「宝物」である伝統工芸や匠の技を継承し、将来のものづくりマイスターになり得る人材を育成 【産業】

中高一貫教育校の改善

○ 中学校段階の生徒による切磋琢磨の^{せつさたくま}機会の創出

○ 併設型中高一貫教育校の改善

高校段階からの生徒募集を停止するとともに、中学校段階からの高い入学ニーズを踏まえ、中学校段階での生徒募集の規模を拡大

定時制課程・通信制課程の改善

○ チャレンジスクールの新設

足立地区と立川地区においてチャレンジスクールを新設

○ ICTの活用による通信制課程の改善・充実

ICTの活用による通信制課程の学びのセーフティネット機能を強化

島しょ高校の改善

○ ICT環境の更なる活用による教育活動の充実

インターネット環境の整備等を充実させ、学校・家庭を通じた学習を支援するなどICTの活用により、島しょ高校に内在する地理的制約を克服

目標Ⅲ 質の高い教育を支えるための環境整備（教育諸条件）

組織的な学校経営の強化

○ 都立高校魅力発掘・発信プロジェクトの実施

各校におけるランドデザインの策定やそれに基づくカリキュラム・マネジメントの確立を推進するとともに、その実現に向けた取組を支援。あわせて、各校のホームページや魅力PR動画等の制作を支援し、学校の特色を戦略的に発信

○ 学校経営能力の向上

教育管理職やミドルリーダー層のマネジメント能力を育成するため、研修プログラム等を充実

教員の資質・能力の向上

○ 英語科教員等の海外派遣研修の実施

英語科教員等の海外派遣研修を実施し、高い指導力と国際的視野を身に付けた教員を育成

○ 研修動画の制作・配信

通所が困難な教員に対して、「いつでもどこでも受講できる」研修動画を制作・配信

○ 学校における働き方改革の推進

教員一人一人の心身の健康保持の実現と、誇りとやりがいをもって職務に従事できる環境を整備し、教育の質を維持向上

- 非常勤職員の配置により副校長の業務負担を軽減
- 教員の授業時数軽減の対象拡大を図るとともに、それらの取組により教員OB等の活用を促進
- 全校での学校閉庁日の設定と各学校による定時退庁日等の取組の促進
- 勤務時間制度の弾力的な運用が可能となる仕組みを検討し、柔軟かつ多様な働き方を実現
- 新財団を設立し、学校の実情を踏まえたきめ細かく安定的な支援を実施

安全で環境に優しい施設整備

○ ブロック塀等の安全対策と体育館等への空調設置

ブロック塀等の安全対策を速やかに進めるとともに、2019年度から3年間を目途として、体育館に空調設備を導入

就学機会の適正な確保

○ 在京外国人生徒等の受入れと日本語習得に向けた支援

外国人人口の増加に伴い、在京外国人生徒等に係る適切な募集規模を検討するとともに、学校生活上で必要な日本語を効果的に習得できるよう指導体制を構築

社会の変化に対応した入学者選抜の改善

○ 入学者選抜への英語「話すこと」の評価の導入

都内公立中3年全員を対象とするスピーキングテストの実施（2021年度予定）に向けた検討・準備を進めるとともに、入学者選抜での活用方法等について検討

課題を抱える生徒等の自立に向けた支援の充実

○ NPO等と連携した居場所づくり

課題を抱える生徒に対して、拠り所となる居場所を提供するとともに、学習支援や生徒同士の交流等を通じて、個々の生徒に応じたきめ細かい対応を実施

○ SNSを活用した教育相談体制の構築

問題の深刻化を未然に防止するため、SNSを活用した新たな相談体制を構築

都立高校等の配置計画・学科の改編等

1 配置計画

新実施計画（平成28～30年度）に基づく取組を継続

(1) 学校の設置

内容	対象校<設置場所>	開校予定年度
小中高一貫教育校	立川国際中等教育学校	平成34（2022）年度
家庭・福祉高校（仮称）	赤羽商業高校	平成33（2021）年度
新国際高校（仮称）	<旧東京都職員白金住宅地>	—
足立地区チャレンジスクール	荒川商業高校	平成34（2022）年度
立川地区チャレンジスクール	<旧多摩教育センター敷地>	平成35（2023）年度

※新国際高校（仮称）については、基本設計の結果等を踏まえ、できるだけ早期に開校予定

(2) 閉課程

内容	対象校	閉課程予定年度
全日制課程・定時制課程併置校において、夜間定時制課程の閉課程により併置を解消	雪谷高校	平成32（2020）年度
	江北高校	平成33（2021）年度
	小山台高校	未定
	立川高校	未定

2 学科の改編等

(1) 学科の改編

内容	対象校	改編予定年度
普通科の一部を理数科に改編	立川高校	平成34（2022）年度
商業科を特色ある普通科に改編	五日市高校（全日制課程）	平成32（2020）年度
	五日市高校（定時制課程）	平成31（2019）年度

※このほか、多摩地域における理数科の設置の進捗状況等を踏まえ、23区内においても理数科の設置を検討

(2) その他

内容	対象校	予定年度
併設型中高一貫教育校において、高校段階での生徒募集を停止するとともに、中学校段階からの高い入学ニーズを踏まえ、中学校段階での生徒募集の規模を拡大	富士高校・附属中学校	平成33（2021）年度 入学生から
	武蔵高校・附属中学校	
	両国高校・附属中学校	平成34（2022）年度 入学生から
	大泉高校・附属中学校	

※白鷗高校・附属中学校については、施設整備の状況を踏まえて実施時期を決定（実施時期：平成33（2021）年度以降を予定）